

保護者等からの事業所評価の集計結果

公表								
事業所名	てらびあぼけっと東門前教室							
公表日	2026年	3月	7日					
利用児童数	12名	回収数 7名(兄弟2家庭)						
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	7					
	2	職員の数配置は適切であると思いますか。	7					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	6	1			バーテーションの拡充の検討をお願いいたします。	今後、お子様の実生活に合わせて設備の拡充を図ります。また環境構成で疑問などありましたら遠慮なくお声がけください。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	7				新しい教室で内装がきれいです。	お子様たちに安全かつ楽しみに通っていただくことを第1に有意義な時間となるように工夫してまいります。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	7				日々の困り感に寄り添っていただき、臨機応変にセラピーへ取り入れてくださり、とても助かっています。	・お子さまのプログラム内容でお気づきの点がございましたら、見学等もできますのでご相談ください。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	6	1				・今後も、お子様の課題や保護者様のニーズのお聞き取りを丁寧に行わせていただきます。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	7				計画の際の説明もあり、毎回丁寧にその日のことを教えてくれる。	・計画作成までにアセスメント・お聴き取り等ご協力ありがとうございます。引き続き個々に合わせた計画を作成してまいります。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	6	1				移行支援については、対象の方へ適宜お伝えして参ります。気になる点がございましたら、ご相談ください。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	7					・支援内容につきまして、都度指導員、児童発達支援管理責任者からもお伝えいたしますがご不明な点がございましたら遠慮なくお伝えください。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	6	1				・お子様の成長や課題に合ったプログラムを取り入れて参ります。気になる点がございましたら、いつでもご相談ください。
保護者 への 説明 等	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	6			1	園訪問はありがたいです。今後ともよろしくお願ひいたします。	・私たちとしても関係機関との連携を重視しております。引き続きご希望の方へ継続させていただきます。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	7				保育園との連携や契約時の説明も丁寧だった。	・通所を開始してからも疑問点などありましたらいつでもお知らせください。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	7				計画から実際にどうやるか説明があった。	支援内容が実生活に即しているか、引き続き共有のほどよろしくお願ひいたします。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6			1		合同の企画は未実施ですが、ご要望がありましたらお知らせください。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	7					いつも詳細にお知らせいただけることで、療育内容に反映できております。引き続きよろしくお願ひいたします。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	7				面談の機会が多く、いつでもお話しできるので助かっています。	保護者支援も積極的にまいりますので今後も継続して行わせていただくと幸いです。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	7				日々困り感に寄り添っていただいています。	・今後とも皆様のお話を伺いながら、支援へつなげてまいります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	3	3		1	交流の機会はない。	・今のところイベント等の予定はございませんが、個別のご対応をさせて頂いております。イベント等につきましては、今後検討してまいります。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	7				こちらが話したいと思っているときにお声がけしてくださるので助かっている。	・ご都合に合わせて今後とも面談の機会を設けさせていただきます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	7					・当日のフィードバックももちろんですがノートでも情報の共有を今後もよろしくお願ひいたします。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	6	1			見ていない。	・弊社HPやリタリコにも定期的にブログを載せておりますのでお時間あります時にご確認ください。
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	7					・個人情報については研修やマニュアルを作成しております。今後も研修を行ってまいります。	
非常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	5	1		1		・マニュアルや訓練報告について実施後保護者の皆様へ報告を掲示だけでなく口頭でもさせていただきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	5	1		1		・訓練報告を玄関に掲示しておりますのでご覧くださいませ。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	6			1	避難先の説明があり把握している。	避難訓練に関して、実際に起こった際のことを想定しております。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	6			1	まだ起きていないのでわからない。	事故等がないことが第1ですが今後起こった際は速やかに対応し報告と再発防止に努めます。
満足 度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	7					安心して楽しく通所できるように努めます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	7				毎日でも行きたいという時がある。事業所での活動が楽しいのならうれしい限りです。	お子様が通いたいと思っていただくことがスタートラインだと思います。引き続き通っていただけるように努めます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	7				以前は言葉で気持ちを伝えるのが難しかったですが通い始めて自分の気持ちを言葉で伝えられる機会が増えました。	今後ともお子様の成長に合わせて進めてまいります。よろしくお願ひいたします。

事業所における自己評価結果

公表						
事業所名	てらびあぼけっと東門前教室					
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4			利用状況に応じて空間の活用方法を見直し、より効果的な支援環境の整備に努めてまいります。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4			児童数に応じた柔軟な職員配置を継続し、質の高い支援体制の維持に努めます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		集団で遊ぶ場と個別でセラピーを行う場が分けられている。	お子様に合わせた構造化や視覚支援の工夫をさらに充実させ、安心して活動できる環境づくりを進めます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		掲示物はお子様の視線からは外れる位置にし、刺激の少ない環境整備となっている。	清潔保持と安全管理を継続するとともに、活動内容に応じた空間調整を行います。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4			個別対応が必要な場面において、より安心して利用できる環境づくりを継続します。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4			全職員が主体的に参画できるPDCA体制を維持し、振り返りの質向上に努めます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4			保護者評価を分析し、具体的な改善策へ反映させる仕組みをさらに強化します。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4			職員の意見交換の機会を充実させ、業務改善に積極的に活かします。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4			今後外部評価の活用についても検討し、より客観的視点を取り入れた改善に努めます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	4			年間研修計画を基に専門性向上を図り、継続的な資質向上を目指します。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4			支援プログラムの見直しを定期的に行い、分かりやすい公表に努めます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4			アセスメントの質向上を図り、多角的視点からニーズ分析を行います。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4			多職種協議の質を高め、子どもの最善の利益を最優先に検討を行います。
	14	児童発達支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		毎セラピー時に計画を確認して準備している。	計画共有の方法を定期的確認し、支援の一貫性を高めます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4			フォーマル・インフォーマル双方の評価手法の活用を継続します。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4			本人支援・家族支援・移行支援・地域支援の視点をより明確に計画へ反映させます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4			チームでの立案の質を高め、役割分担の明確化を進めます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		終礼時に報告をし、次回の方針を全職員で共有している。	活動の固定化を防ぐため、定期的な見直しを行います。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4			個別と集団のバランスを適宜検討し、最適な支援形態を追求します。
供	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		朝礼で行っている。	事前打合せの質向上を図り、より連携した支援を実施します。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4			振り返り内容を次回支援へ確実に反映させる仕組みを強化します。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4			モニタリングの精度を高め、迅速な計画見直しに努めます。
	23	定期的にもモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4			会議参加者の情報共有をさらに徹底し、支援の連続性を確保します。
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4			関係機関との連携を強化し、地域包括的支援体制の充実を図ります。

関係機関や保護者との連携	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4			インクルージョンの視点をさらに意識し、情報共有体制を整備します。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか、また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4			対象児童がいる際に円滑な移行支援が行えるよう、体制整備と制度理解の深化に努めます。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	2	対象児童がいない。	対象児童がいた際にスムーズに行えるように制度理解に努めます。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
	29	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4		当該施設へ伺い、連携に努めている。	今後も継続し、地域に根付いた施設になれるよう努めます。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	3		今後ご要望に応じて企画させていただきます。
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4			保護者との情報共有の質を高め、共通理解を深めます。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4		毎回迎え時に、情報提供の機会となっている。	保護者の皆様から声の掛けやすい事業所を目指してまいります。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4			説明内容の分かりやすさ向上に努めます。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4			お子様とご家族の意向確認の質向上を図ります。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4			ご説明の際により丁寧に行います。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		迎え時に相談支援になることも多い。	引き続きいつでも承れるような体制を整えます。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	3		保護者交流機会の設定を検討します。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4			相談対応体制の周知を継続します。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4			情報発信方法の多様化を検討します。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4			個人情報保護意識の向上を継続します。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4			意思疎通支援の方法をさらに工夫します。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	1		地域に開かれた運営を段階的に推進します。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4			各種マニュアルの定期見直しを行います。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4			BCP訓練の質向上を図ります。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4			必ず初回セラピー前には職員で共有しております。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	1		現時点で対象児童はおりませんが、受け入れた際は研修やマニュアルを通じて対応いたします。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4			安全管理体制の継続的改善を行います。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4		毎月玄関に掲示し、周知しております。	安全計画の周知方法を工夫します。
51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		毎月職員会議の議題として振り返り、再発防止と重大事故防止に留意している。	ヒヤリハット分析の質向上に努めます。	

52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		年間の計画に沿って研修を行っている。	虐待防止研修を継続実施します。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4			身体拘束に関する説明と記録の徹底を継続します。

事業所における自己評価総括表

公表			
○事業所名	てらびあぼけつと東門前教室		
○保護者評価実施期間	2026年2月1日～2026年2月29日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数) 7名
○従業者評価実施期間	2026年2月1日～2026年2月29日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月3日		

○分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者満足度の高さ・信頼関係の構築	<ul style="list-style-type: none"> 日々のフィードバックを丁寧に実施 送迎時の個別相談対応 面談機会の確保 園訪問等の積極的な関係機関連携 お子様の困り感を即時プログラムへ反映 	<ul style="list-style-type: none"> 面談内容の記録共有の質向上 家族支援プログラムの拡充
2	個別支援の質と計画に沿った実践力	<ul style="list-style-type: none"> セラピー前の計画確認 終礼での振り返り共有 フォーマル・インフォーマル双方のアセスメント活用 チームでのプログラム立案 	<ul style="list-style-type: none"> モニタリング時の精度の向上 セラピー内容の根拠理解 研修体制の強化
3	構造化された安心できる環境整備	<ul style="list-style-type: none"> 集団活動と個別活動空間の分離 刺激を抑えた掲示物配置 清潔・安全管理の徹底 	<ul style="list-style-type: none"> パーテーション等の環境整備検討 特性に応じた視覚支援の強化
	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流・保護者交流の機会が限定的	<ul style="list-style-type: none"> 定期イベント未実施 地域との接点づくりが限定的 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者交流会の開催検討 地域行事への参加 保育所・幼稚園との交流機会創出 小規模からの試験的イベント実施
2	マニュアル・安全体制の周知不足	<ul style="list-style-type: none"> 口頭説明機会が少ない マニュアル等の掲示個所の説明不足 	<ul style="list-style-type: none"> マニュアル掲示個所の変更 安全計画説明機会の定期化
3	就学移行支援の実績が限定的	<ul style="list-style-type: none"> 対象児童が少数 移行支援経験の蓄積不足 	<ul style="list-style-type: none"> 制度理解の深化 関係機関との事前連携強化 移行支援フローの明文化